



**第48回日本心血管インターベンション治療学会
北海道地方会
プログラム・抄録集**

◆日時 平成31年 3月16日(土)

◆会場 ロイトン札幌

第48回 CVIT北海道地方会 会長

國分 宣明

札幌医科大学 循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座

ご挨拶



第48回日本心血管インターベンション治療学会 北海道地方会

会 長 國分 宣明 札幌医科大学
循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座

2019年3月16日、第48回日本心血管インターベンション治療学会(CVIT)北海道地方会を開催するにあたりご挨拶を申し上げます。

冠動脈インターベンション(PCI)が冠動脈疾患患者に対して開始され、約40年が経過を致しました。当初、バルーン拡張のみであった時代からベアメタルステント(BMS)留置、さらに薬剤溶出型ステント(DES)の留置の時代へと進化し、多くのPCI後の問題点をこれまで乗り越えてきた歴史があります。慢性完全閉塞病変、左主幹部病変、分岐部病変、入口部病変、石灰化病変、小血管といった難治度の高い病変にPCIに関しては、ガイドワイヤーや貫通用マイクロカテーテルなどのデバイスの進化に加えて、retrogradeアプローチ等の新しいPCI手技自体が開発され、さらに洗練されて、難易度の高い手技が標準化されつつあるように思います。CT、IVUS、OCT/OFDI等のイメージングモダリティやFFR/iFR等の生理学的な虚血評価もPCIをより安全でかつ長期予後を見据えた治療へと導いていると思います。一方、PCIのみならず、末梢血管疾患に対するEVTにおいてもデバイスの進化は目覚ましく、新しい治療テクニックも次々に登場し、その進化の速さはPCI以上です。さらにはTAVI、mitral clipをはじめとするStructural Heart Disease(SHD)への治療も徐々に経験が蓄積されてきていると思われれます。昨年より本邦においても循環器内科医が単独で挿入管理、維持、抜去が可能な強力な経皮的な補助循環用ポンプカテーテルであるインペラの使用も可能となりました。

貴重な一例一例を術前から十分に検討し、術後にその反省を繰り返し、症例から学んだ事を情報交換し、知識を共有することは、患者さんに最新のインターベンション治療を提供するにあたり大変重要なことと考えます。このCVIT北海道地方会が会員各位の日常診療にお役立て頂ければと存じます。

今回、本地方会では一般演題、Young Investigator Award(YIA)セッション、コメディカルセッションに加えて、午前中に2症例のビデオライブセッションも新たに企画しております。また、特別講演には、九州大学循環器病未来医療研究センターの朔 啓太先生をお招きし、補助循環用ポンプカテーテルであるインペラに関する御講演を賜ります。当日も日常診療等で御多忙のこととは存じますが、多数の御参加、そして活発な御討議をどうぞよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、会員の皆様ならびにコメディカルの方々には大変興味深い演題を多数ご応募頂き、厚く御礼申し上げます。また、本会開催にあたり多大なご尽力を賜りました支部役員、会員、事務局および関係諸氏にも、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

参加者へのご案内

1 参加受付

- 受付日時 2019年3月16日(土) 9:00～17:30
- 受付場所 ロイトン札幌 2F ホワイエ
- 参加費 医師(会員・非会員)・企業 3,000円
コメディカル(会員・非会員) 2,000円

会員の方は事前に発送された当抄録集をご持参ください。

- 参加証 会期中は参加証の着用をお願いいたします。参加証の着用がない場合は、各会場への入場を固くお断りします。

2 その他ご案内

- クロークについて お荷物はロイトン札幌2Fのクロークをご利用ください。
- 写真撮影・音声収録・映像収録 会場内での、撮影・音声・映像収録は固くお断りします。
- 呼び出し 会場内での呼び出しは行いません。
- ロイトン札幌駐車場の割引サービスはありません。
- ランチョンセミナーでは昼食をご用意いたします。数に限りがありますので予めご了承ください。尚、整理券の配布はありません、先着順となります。

▪ 取得可能単位について

- 日本心血管インターベンション治療学会(CVIT)専門医認定医資格更新単位
3点^{(※1)(※2)}
- 日本心血管インターベンション治療学会合同認定インターベンションエキスパートナース(INE)更新単位 10単位
- 日本心血管インターベンション治療学会認定心血管インターベンション技師(ITE)更新単位 10単位^(※2)
- 日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師 認定更新単位
2単位^(※2)

各資格更新時にご自身でお手続きください(参加受付の際に、参加証明書を発行いたします)。

※1: CVIT 専門医認定医資格更新単位3点のみ、会員証による単位登録を行います、会員証をご持参ください。

※2: 座長・発表者として出席の場合は単位数が変更となる場合があります、詳しくは各事務局へお問い合わせください

3 座長・演者の方へ

▪ 座長の方へ

ご担当のセッション開始10分前までに、会場内右手前方の座長席近くにご着席ください。

担当セッションは時間厳守にてお願いします。

▪ 演者の方へ

口演発表は、コンピュータープレゼンテーションに限ります。

ご発表セッション開始20分前までに、PC受付にてご発表データの登録またはプレビューを行ってください。

発表は、演台のモニターで確認しながら備え付けのマウスおよびキーボードで自身で進めてください。

【PC受付】 ロイトン札幌 2F ホワイエ 参加受付横

【発表時間】

メディカル一般演題／コメディカル一般口演：

発表 7分 質疑応答 3分 計10分

地方会優秀演題(YIA)：

発表 10分 質疑応答 2分 計12分

その他のセッションは別途ご連絡いたします。

【データでの持込について】

- データはUSBメモリなどメディアでご持参ください。
- 動画を使用の場合でもUSBメモリなどメディアでの持込を可とします。ただし下記の注意事項を必ず守ってください。
 - i Windows版Power point 2003～2013で作成されたデータであること。
 - ii 動画ファイルを使用する場合はWMVにエンコードしたものを推奨します。Power Point 2010以降はスライドデータに動画ファイルを埋め込む機能がありますが、保存を97-2003の互換で行いますと、その機能が有効になりません。動画ファイル単体は念のためお持ちください。
 - iii Windows標準フォントを使用すること。
 - iv 動画含め作成されたPC以外のPCで事前に動作確認をしていただくこと。
 - v スライドのサイズはXGA(1024×768)に設定していただくこと。

【PC本体の持込について】

- 電源アダプターは必ずご持参ください。
- ご発表のパワーポイントまたはKeynoteの解像度はXGA(1024×768)に設定してください。

- スクリーンセーバー、省エネ設定(スリープ機能等)、パスワードロックはすべて解除してください。
- D-sub 15ピンミニ以外のコネクタの PC は必ずアダプターをご持参ください。
- 可能な限り、事前にプロジェクターなどへ接続し、出力をご確認ください。

【データ・PC 共通事項】

- パワーポイントの発表者ツールは使用できません。発表原稿はプリントアウトしご持参ください。
- 万が一に備え、必ず発表ファイルのバックアップデータをご持参ください(USBメモリ、CD-R など)。
(作成された PC 以外の PC で再生できることをご確認ください)

【その他】

- お預かりした発表データは、学会終了後、事務局にて消去いたします。
- 当日やむを得ない事情で発表出来ない場合はなるべく代理の演者を立ててください。
代理も不可能な場合は演題取り下げになります、事務局へ電話にてご連絡をお願いいたします

4 幹事会・comedical部会のご案内

▪ CVIT 北海道支部幹事会

日時：2019年3月16日(土) 12:40～13:00

会場：ロイトン札幌 2F クリスタルルーム B

▪ CVIT 北海道支部comedical部会

日時：2019年3月16日(土) 11:10～11:40

会場：ロイトン札幌 2F クリスタルルーム B

5 お問い合わせ先

日本心血管インターベンション治療学会北海道支部 事務局

〒003-0809 札幌市白石区菊水9条3丁目1-17

TEL：011-788-3046 FAX：011-788-3045

<http://www.cvit-hokkaido.com/>

日 程 表

	エンプレスホール	クリスタルルーム A	クリスタルルーム B
9:30		9:37～ 開会挨拶	
10:00	9:40～10:40 メディカル一般演題 Session 1	10:00～10:45 ビデオライブセッション 『Rotablator 症例』	
11:00	10:40～11:40 メディカル一般演題 Session 2	10:45～11:30 ビデオライブセッション 『MitraClip 症例』	11:10～11:40 コメディカル部会
12:00	11:50～12:30 ランチョンセミナー		
		12:37～ 開会挨拶	
13:00		12:40～13:30 コメディカル一般口演 1	12:40～13:00 幹事会
14:00	13:10～14:10 特別講演	13:30～14:00 コメディカル技術講演	
15:00	14:10～15:10 地方会優秀演題 (Young Investigator Award)	14:20～15:10 コメディカル一般口演 2	
16:00	15:10～16:10 メディカル一般演題 Session 3	15:10～16:10 コメディカル一般口演 3	
17:00	16:10～17:10 メディカル一般演題 Session 4	16:15～17:15 コメディカル特別講演	
18:00	17:10～18:00 メディカル一般演題 Session 5	17:15～18:05 コメディカル一般口演 4	
			18:05～ 閉会挨拶

プログラム

3月16日(土) 会場：ロイトン札幌 2F

エンブレスホール

9:37～9:40 開会挨拶 会長：國分 宣明 札幌医科大学 循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座

9:40～10:40 一般演題 Session 1

座長：村上 直人(札幌医科大学)

- 01** severe AS を合併した重症急性心不全に対して BAV で救命できた1例 18
渡辺 栞 名寄市立総合病院 循環器内科
- 02** TAVI 弁の留置に難渋した TAV in SAV の一例 19
山崎 和正 札幌東徳洲会病院 循環器内科
- 03** IMPELLA[®]を含む補助循環デバイスの併用によって
救命し得た劇症型心筋炎の一例 20
岸上 直広 札幌医科大学 循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座
- 04** 当院における IMPELLA の使用経験から振り返る 21
八戸 大輔 札幌心臓血管クリニック
- 05** 冠静脈分枝の狭窄に対し血管拡張術を施行し、
LV リードが留置可能となった CRT-D upgrade 症例 22
山本 均美 釧路孝仁会記念病院 循環器内科
- 06** 病理にて全周性の貫壁性急性心筋梗塞所見を呈した
重症大動脈弁狭窄症によると思われる院外心肺停止の一例 23
中田 潤 札幌医科大学 循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座

10:40～11:40 一般演題 Session 2

座長：鈴木 孝英(旭川厚生病院)

- 07** スtent over rap 部位に慢性期に狭窄を認め、
OCT で stent fracture を確認出来た1例 24
山本 均美 釧路孝仁会記念病院 循環器内科

- 08** 不安定狭心症に対する PCI で、
OCT で honeycomb 様構造を観察した 1 例 25
山本 均美 釧路孝仁会記念病院 循環器内科
- 09** Bare metal stent 再狭窄に対する
IVUS・OFDI と血管内視鏡による病変部の検討 26
酒井 美穂 名寄市立総合病院 循環器内科
- 10** The relationship between obstructive sleep apnea and
coronary plaque instability : An OFDI analysis 27
小西 崇夫 北海道循環器病院 循環器内科
- 11** 急性心筋梗塞へ PCI 時に FFR 有意の非梗塞責任血管に対して
PCI を併施し、術後 1 か月で非心臓手術を行った一例 28
松本 純一 北海道中央労災病院 循環器科
- 12** 低形成の RCA を責任病変とする AMI で、なにが起こるか 29
須永 大介 北海道循環器病院 循環器内科

11:50~12:30 ランチョンセミナー

座長：八巻 多（名寄市立総合病院）

PROVEN RESULTS, SUSTAINED DRUG RELEASE
— The First & Only Polymer DES for SFA, ELUVIA

LS1 Latest insights on DCB and DES technology

丹 通直 時計台記念病院

LS2 The First & Only Polymer DES for SFA, ELUVIA

宇都宮 誠 東邦大学医療センター 大橋病院

共催：ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

13:10~14:10 特別講演

座長：國分 宣明（札幌医科大学 循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座）

Impella 時代の循環器診療を乗り切るための臨床血行動態学入門

朔 啓太（九州大学 循環器病未来医療研究センター）

審査員：長谷川 徹 (JR 札幌病院)
古谷 純吾 (華岡青洲記念心臓血管クリニック)
牧口 展子 (恵み野病院)

症例検討部門

- Y-1** レボレード (エルترونボパグ) が亜急性ステント内血栓性閉塞症 (SAT) を惹起した可能性が考慮された 1 例 30
飛澤 利之 製鉄記念室蘭病院 循環器内科
- Y-2** 移植心の三尖弁置換術後の重度三尖弁狭窄症に対し、経皮的バルーン拡張術をブリッジとして施行した 1 例 31
石井 奈津子 手稲溪仁会病院 心臓血管センター 循環器内科
- Y-3** 巨大弁輪の二尖弁に対して Sapien 3 で TAVI を施行した 1 例 32
宜保 浩之 市立函館病院 循環器内科
- Y-4** イノウエバルーンと自己拡張型人工弁を用いることで rapid pacing を行うことなく TAVI を施行可能であった 2 症例 33
小森山 弘和 北海道大学病院 循環器内科

臨床研究部門

- Y-5** Clinical Outcomes of Drug Coated Balloon for Small coronary De novo lesions in a Multicenter Post-Approval Registry 34
舟山 直宏 北海道循環器病院 循環器内科

- 13** When it pops-out: Restart all over again from the beginning? 35
山下 武廣 北海道大野記念病院 心臓血管センター
- 14** Jailed Balloon Technique で側枝のプロテクトを試みるも Rewiring 時に解離を生じ DK Crush Stenting となった一例 36
山田 陽一 新札幌循環器病院 循環器内科

15	バルーン開大不能であった高度石灰化病変に対し、Diamondback360が有用であった症例	37
	野崎 洋一 社会医療法人社団カレスサッポロ 北光記念病院 循環器科内科	
16	冠動脈外側副血行の RCA CTO の一例	38
	加藤 伸郎 王子総合病院 循環器内科	
17	ペースメーカー埋込後の鎖骨下静脈閉塞に対して CRT へのアップグレードを目的とした血行再建を施行した一例	39
	村椿 真悟 函館五稜郭病院 循環器内科	
18	バルーン拡張が困難であった再狭窄病変の 1 例	40
	下岡 良典 北農会 恵み野病院 循環器内科	

16:10～17:10 一般演題 **Session 4**

座長：川嶋 望(札幌整形循環器病院)

19	SFA CTO 治療時にステントシステムがスタックしたが、ステントを変形した形で留置し、ベイルアウトできた一例	41
	伊東 直史 KKR 札幌医療センター	
20	IVUS ガイド下で穿刺・吸引を行い症状が軽快した膝窩動脈外膜嚢腫の一例	42
	齊院 康平 時計台記念病院 循環器センター	
21	当院における診断カテーテルを使用しない switch back technique	43
	鈴木 理穂 市立札幌病院 循環器内科	
22	巨大冠動脈瘤内の多量血栓が原因となった急性心筋梗塞の一例	44
	齋藤 礼衣 釧路孝仁会記念病院 循環器内科	
23	PCI 施行時に右冠動脈解離、Stanford A 型解離を発症した一例	45
	齋藤 礼衣 釧路孝仁会記念病院 循環器内科	
24	A 型大動脈解離に併発した急性心筋梗塞に対する緊急 PCI の経験	46
	中田 潤 札幌医科大学 循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座	

- 25** 当院における低侵襲心臓カテーテル手技への取り組み 47
竹内 剛 市立千歳市民病院 循環器科
- 26** Distal radial approach における Learning curve の検討 48
柴垣 圭佑 名寄市立総合病院 初期研修医
- 27** Stenting after jailed side branch DCB 法の試み 49
尾野 稔侑 JA 北海道厚生連 遠軽厚生病院 循環器科
- 28** 冠動脈拡張症を有する宗教的輸血拒否患者に発症した
急性心筋梗塞の一例 50
西野 広太郎 市立函館病院 循環器内科
- 29** 冠動脈 CT の4日後の CAG で広範な血栓閉塞を認めた
無痛性 NSTEMI 症例 51
只野 雄飛 札幌心臓血管クリニック 循環器内科

クリスタルルーム A

10:00～10:45 ビデオライブセッション

『Rotablator 症例』

座長：山下 武廣(北海道大野記念病院)
八巻 多(名寄市立総合病院)

演 者：舟山 直宏(北海道循環器病院)

コメンテーター：野崎 洋一(北光記念病院)
清水 紀宏(砂川市立病院)
杉江 多久郎(札幌心臓血管クリニック)
明上 卓也(北海道医療センター)

ミニレクチャー

当院における Wolverine™ 使用経験

棒田 浩基(札幌東徳洲会病院)

共催：ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

10:45～11:30 ビデオライブセッション

『MitraClip 症例』

座長：廣上 貢(手稲溪仁会病院)
竹内 利治(旭川医科大学)

演 者：神谷 究(北海道大学)

コメンテーター：大野 洋平(東海大学医学部付属病院)
谷 友之(札幌東徳洲会病院)
村中 敦子(札幌医科大学)
八戸 大輔(札幌心臓血管クリニック)

ミニレクチャー

MitraClip 治療の至適患者選択 —COAPT 試験の結果を踏まえて—

大野 洋平(東海大学医学部付属病院)

共催：アボット バスキュラー ジャパン株式会社

12:37～12:40 開会挨拶 橋本 佳苗 札幌医科大学附属病院

12:40～13:30 コメディカル一般口演 1

座長：藪 文也(北海道大野記念病院)

- C-01 Canon 社製アンギオ装置 Alphenix sky の初期使用経験** 52
三浦 祐二 社会医療法人社団カレスサッポロ 北光記念病院 放射線科
- C-02 カテーテル検査時における被ばく低減の試み** 53
清水 拓哉 社会医療法人 孝仁会 釧路孝仁会記念病院
- C-03 AK 値を用いた患者被ばく線量管理** 54
小笠原 将士 札幌医科大学附属病院 放射線部
- C-04 リアルタイム個人線量計の使用経験** 55
須藤 洋平 札幌医科大学附属病院 放射線部
- C-05 同一メーカー複数機種での心カテ時の線量差の検証** 56
工藤 環 札幌心臓血管クリニック 診療放射線部

13:30～14:00 コメディカル技術講演

座長：小倉 圭史(札幌医科大学附属病院)

ハートフロー FFRct 解析について

中村 俊(ハートフロー・ジャパン合同会社 カスタマーサクセス部 ディレクター)

14:20～15:10 コメディカル一般口演 2

座長：西谷 彰紘(手稲溪仁会病院)

- C-06 当院における MitraClip 治療の経験** 57
岡本 花織 北海道大学病院 ME 機器管理センター
- C-07 MitraClip の業務について** 58
成田 孝行 旭川医科大学病院 診療技術部 臨床工学技術部門

C-08	LMT の AMI に対して IMPELLA が有用であった一例	59
	黒田 寛司 札幌心臓血管クリニック 臨床工学部	
C-09	劇症型心筋炎に対し、IABP・VA-ECMO・IMPELLA[®]の 補助で回復へ導いた一例	60
	納村 直人 札幌医科大学附属病院 臨床工学部	
C-10	低心機能大動脈弁狭窄症に対し経皮的心肺補助下に 経カテーテル大動脈弁留置術を施行した一症例	61
	長谷川 武生 札幌医科大学附属病院 臨床工学部	

15:10～16:10 コメディカル一般口演 3

座長：谷越 哲也（華岡青洲記念心臓血管クリニック）
小川 輝之（札幌医科大学附属病院）

C-11	Cutting Balloon の拡張時間と拡張回数における基礎的な性能評価	62
	岡田 敬 市立釧路総合病院 臨床工学科	
C-12	当院での安静時指標 RFR の使用状況	63
	古谷 政人 札幌心臓血管クリニック 臨床工学部	
C-13	IB-IVUS を用いた冠循環障害検出の試み —急性心筋梗塞と安定狭心症における血球エコー強度の比較—	64
	田中 義範 市立旭川病院 臨床工学室	
C-14	リードレスペースメーカー（Micra[®]）留置に対する放射線技師の取り組み	65
	北 裕一 北海道循環器病院 診療放射線科	
C-15	当院における Dual energy CT（DECT）を使用した 下肢動脈治療への画像支援の取り組み	66
	岡田 勇太 北海道循環器病院 診療放射線科	
C-16	2層検出器搭載 spectral CT における心筋遅延造影の画質評価	67
	佐々木 康二 札幌心臓血管クリニック	

コメディカルが知っておくべき、PCIに必要なCT情報とは

管家 鉄平(華岡青洲記念心臓血管クリニック)

- C-17** 当院におけるACS患者の脂質異常症の現状 68
近惣 優香 社会医療法人社団カレスサポロ 北光記念病院
- C-18** 当院医療ガスボンベ転倒事故後の安全対策について 69
矢野 真吾 名寄市立総合病院 医療技術部 臨床工学科
- C-19** 不要な冠動脈造影を減らすために ～心臓核医学寺子屋の取り組み～ 70
蝶野 大樹 札幌医科大学附属病院 放射線部
- C-20** TAVI時における医療従事者の放射線防護 71
三浦 悟 北海道循環器病院 診療放射線科
- C-21** 誰でも素早くできる放射線ゾーン用患者抑制帯の開発 72
小笠原 将士 札幌医科大学附属病院 放射線部

クリスタルルーム A

11:10～11:40 コメディカル部会

12:40～13:00 幹事会

A series of horizontal dashed lines for writing.

抄 録

01 severe AS を合併した重症急性心不全に対して BAV で救命できた1例

- 渡辺 栞、久木田 新、徳野 翔太、中川 敬太、岩田 周耕、八巻 多、
西浦 猛、酒井 博司
名寄市立総合病院 循環器内科

大動脈弁狭窄症 (AS) は弁置換術が唯一の根治的治療である一方で、AS により急性心不全をきたした症例においては緊急の経カテーテル大動脈弁留置術 (TAVI) や大動脈弁置換術 (AVR) が困難なことも多い。

今回、severe AS を有する重症急性心不全をきたした症例に対しバルーン大動脈形成術 (BAV) を施行し救命に成功した一例を経験した。症例は肺炎を合併した急性心不全で、EF 26% と著明な心機能低下を認め弁口面積 1 cm^2 以下の severe AS であった。抗菌薬治療と同時に緊急で逆行性 BAV を施行したが改善乏しく、人工呼吸器管理、大動脈内バルーンパンピング (IABP)、人工心肺装置 (PCPS) を要した。入院から3日後に再度順行性 BAV を施行して弁口面積を確保し、人工呼吸器、IABP、PCPS の離脱に成功した。EF は30% まで改善し、回復の兆しが見えたが誤嚥性肺炎による敗血症性ショックにより入院から54日に死亡した。

全身状態が不安定な severe AS による急性心不全に対し BAV で一時的に救命できた症例を経験した。AVR や TAVI までのブリッジセラピーとしてだけでなく、急性期の救命の一手としての BAV の役割が期待される。

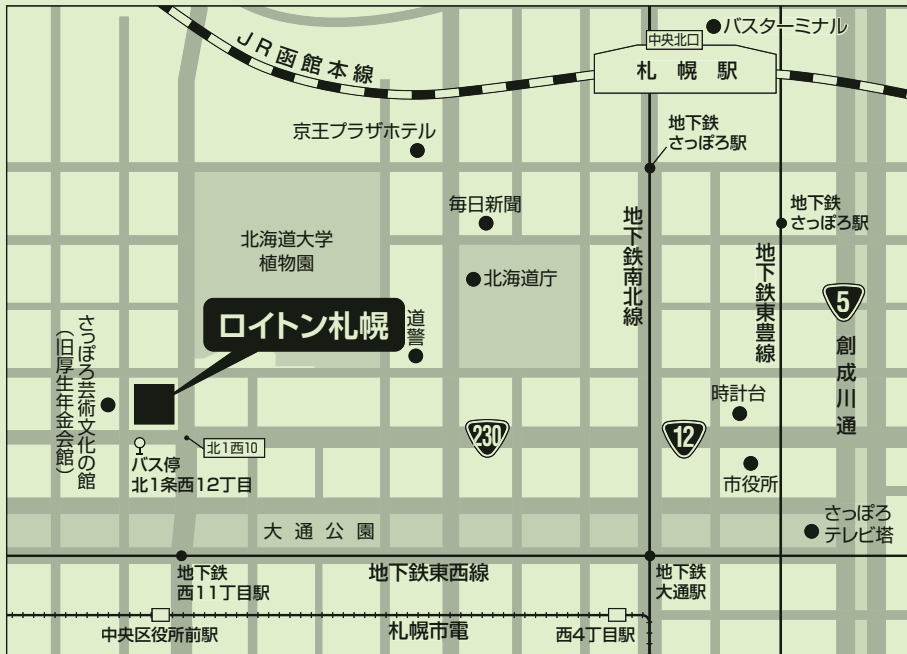
第48回日本心血管インターベンション治療学会
北海道地方会
プログラム・抄録集

会 長：國分 宣明

事務局：日本心血管インターベンション治療学会 北海道支部
〒003-0809 札幌市白石区菊水9条3丁目1-17
TEL：011-788-3046 FAX：011-788-3045
<http://www.cvit-hokkaido.com/>

出 版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<https://secand.jp/>

会場案内図



日本心血管インターベンション治療学会(CVIT)北海道支部

事務局 〒003-0809

札幌市白石区菊水9条3丁目1-17

TEL 011-788-3046

FAX 011-788-3045

<http://www.cvit-hokkaido.com/>